

# エイズ・結核

平成23年11月発行

丹南健康福祉センター



## AIDS (エイズ)

大切なのは正しく知ること・防ぐこと



### ★知っていますか？エイズとHIV感染

◎HIVとは・・・「ヒト免疫不全ウイルス」というウイルスの名称

◎AIDS (エイズ)とは・・・HIVウイルスに感染することによって引き起こされる病気  
の名称で、日本語では「後天性免疫不全症候群」と言う。

HIVに感染後、数週間以内にインフルエンザに似た症状がでることがありますが、感染しているかどうかは検査を受けないと分かりません。

その後、自覚症状のない時期が数年～10年以上続きます。次第にからだの抵抗力が弱くなると弱い細菌やカビなどに感染しやすくなり、悪性腫瘍もできやすくなります。「カリニ肺炎（肺炎の1つ。通常健康な人は心配のないもの。）」や「カポジ肉腫（皮膚や内臓に赤～紫色の斑点ができる悪性腫瘍の1つ）」が代表的なものです。これらの状態をエイズと呼びます。

### <エイズの疑問にお答えします>



Q「エイズって治らない病気なのでは？」

A：確かに完治する病気ではありません。

しかし最近では、医療の発達により発病を遅らせることが可能となり、そのことで余命が格段に延びています！

Q「エイズってうつる病気なのでは？」

A：性行為以外の日常生活で感染することはありません！

### \*こんなことでは感染しません\*

お風呂や  
プール

同じ皿の料  
理を食べる

ノミ・蚊

同じ職場や  
学校で生活

握手

咳・くしゃみ  
汗・涙

洋式トイレ  
の便座

飲み物の回  
し飲み

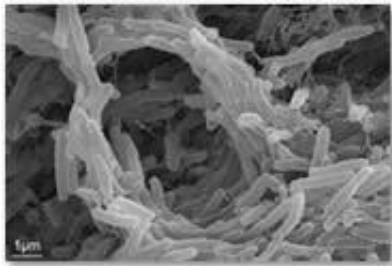
Q「エイズにならないためには…？」

A：原因の約9割が「性行為」です。

そのため無防備な性行為はさけましょう。

⇒コンドームを正しく使った

セーファーセックスの実践



# 結核 は「現代」の病気です



50年前までは、年間死亡者数も10数万人に及び死亡原因の第1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と置いていたら大間違いです。今でも1日に68人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

## 1、健康診断の実施や医療機関への受診が重要です。

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰が2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関で受診してください。症状が1ヶ月以上続く人からは25人に1人の割合で結核患者がみつかっています。早期発見、早期治療が重要です。また、65歳以上の方などは法令に基づいた定期的な結核健診をきちんと受けてください。

## 2、「感染」＝「発病」とは限りません。

結核に「感染」しても、健康で体力があれば、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖が抑えられます。ところが、栄養状態が悪かったり加齢とともに体力が衰えてきたりすると、結核菌に免疫力が負け、とくに高齢者の「発病」が増えていきます。

「発病」とは、感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増殖して体の組織を冒してゆくことです。症状が進むと、咳や痰と共に菌が空気中に吐き出される（排菌）ようになります。ただし、「発病」しても「排菌」していない場合は、他の人に感染させる心配はありません。

## 3、発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります。

治療の基本は服薬です。しかし咳が治まったからといって治療の途中で薬をやめてしまうと、菌は薬への耐性を増し、時に薬の効かない多剤耐性菌になることがあります。必ず、医師の指示を守って服薬を続けてください。

